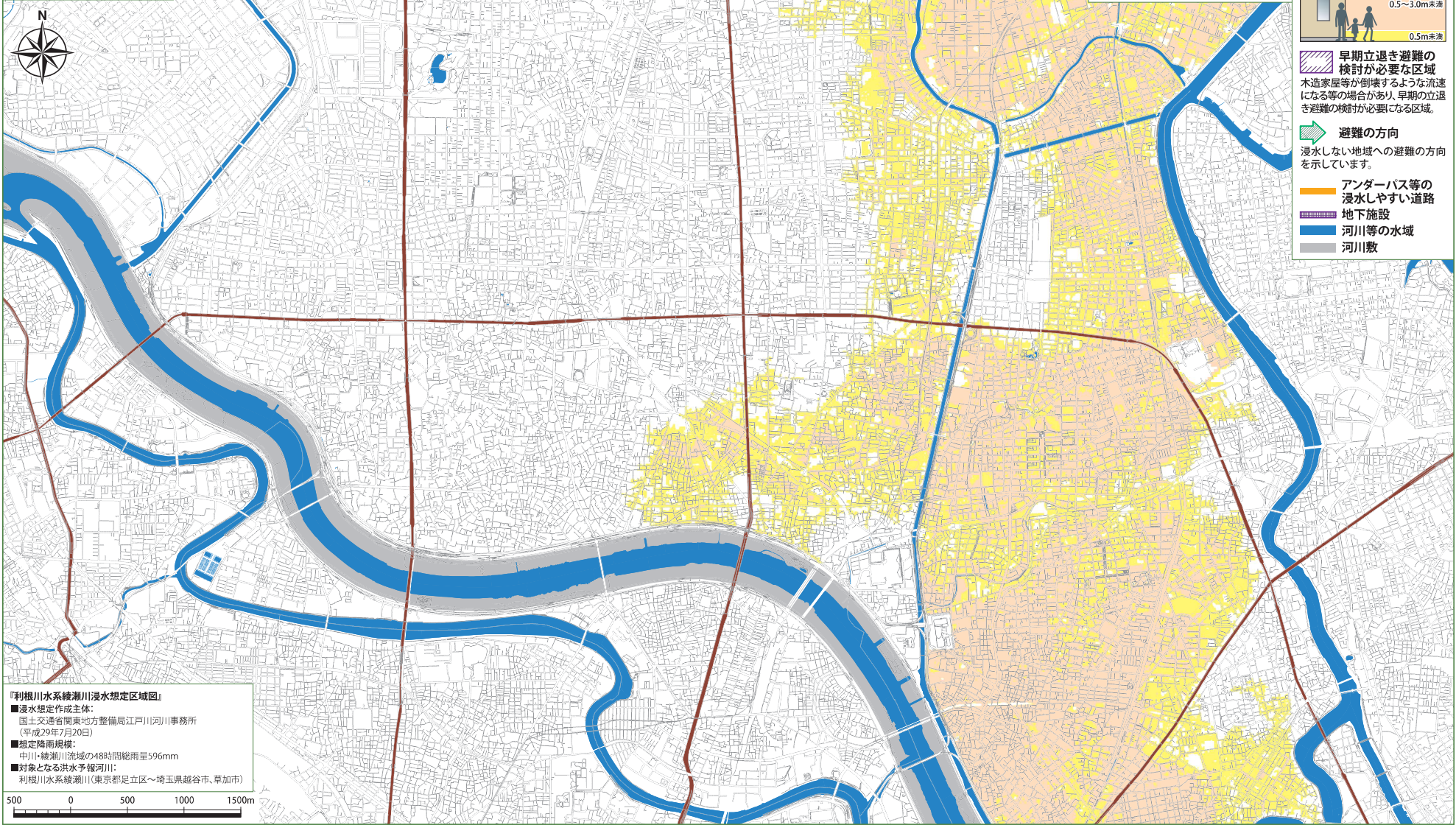


綾瀬川浸水想定概要

この浸水図は、中川・綾瀬川流域において想定しうる最大規模の降雨によって、綾瀬川のいずれかの場所が氾濫した場合の最大浸水深です。

実際の洪水発生時とは想定浸水深が異なる場合や、浸水が想定されていない区域も浸水する場合があります。

綾瀬川が氾濫した場合



- 凡例**
- ① 水害時避難施設
(水害時避難施設一覧はP35～38を参照)
注意：水害時避難施設には、浸水や避難者の状況により避難施設が開設されます
 - ⊙ 区役所
 - ⊗ 警察署・交番等
 - ⊕ 消防署・分署等
 - 区境
 - 主要な道路
 - 鉄道（地上部分）
 - - - 鉄道（地下部分）

想定される最大浸水深

- 5m以上
- 3m以上～5m未満
- 0.5m以上～3m未満
- 0.5m未満

早期立退き避難の検討が必要な区域
木造家屋等が倒壊するような流速になる等の場合があり、早期の立退き避難の検討が必要となる区域。

避難の方向
浸水しない地域への避難の方向を示しています。

- アンダーパス等の浸水しやすい道路
- 地下施設
- 河川等の水域
- 河川敷

『利根川水系綾瀬川浸水想定区域図』

- 浸水想定作成主体：
国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所
(平成29年7月20日)
- 想定降雨規模：
中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm
- 対象となる洪水予報河川：
利根川水系綾瀬川(東京都足立区～埼玉県越谷市、草加市)

500 0 500 1000 1500m